

上村和子 活動レポート

うえむら

こぶしの木 No.66

2016年5月10日発行

いっしょに生きよう!



3月議会で国立市は国民健康保険税の大幅値上げ（2016年度から・平均22%アップ）を行った条例改正案を提案しました。理由として、高齢者の15年度の入院高度治療のための医療費が予想より2億円ほど多くかかったことを挙げています。

しかし予算委員会や福祉保健委員会での審議を通して、値上げ案を決定する過程で、被保険者の詳細な実態が検証されてこなかつたことが分かりました。これからそのようなデータ分析をあこなうという答弁でした。今回の提案は拙速であると考えます。

国保加入者の8割が低所得者

であり、その多くが65歳以上の高齢者です。国保は、憲法における「健康で文化的な暮らしの保障」に基づく医療制度として、生活保護と同じようにセイフティネットとして機能するものです。ですが國保の保険税ではなく命の視点で算定されなければならないません。

議案は賛成14反対7で可決されました。が、賛成議員の多くは、国民皆保険制度を守るために金ではなく命の視点で算定されなければなりません。

しかも企業が半分負担する組合健保とは違い、加入者が背負う負担分は大変重いものです。弱い立場の人々に負担を強いています。

医療費急増要因の詳細な検証なし

3月議会（2月25日～3月24日）

国民健康保険税の大幅値上げに反対

る不条理を軽減するために、一般会計からの補填はあたり前です。このように考え私は条例改正に反対しました。

「国立市平和の日」今年6月スタート

昨年9月議会での上村提案から

佐藤市長は2016年度の「施政方針」で、国立市の「平和の日」を制定する方針を示しました。私が昨年の9月議会で提案していました。

「平和の日」は、国立市が「平和都市宣言」を定めた6月に設け、6月12～21日を「国立市平和週間」として諸行事を実施する、ときない大前提です」と述べ、先の

市は発表しています。その間の休日には「平和イベント」を開催し、また平和についてのエッセイを全国公募するなどです。

市長は「施政方針」で、「平和であることは、市民の幸せ、豊かな暮らしにとって欠くことのできない大前提です」と述べ、先の

戦争での「国民の悲惨な体験」に言及することとともに、「日本軍がアジア地域を中心とした諸国の方々に、大変な慘禍をもたらしたことでも私たちは忘れてはなりません」と語っています。

財政学習会「くにたちの財政と福祉」

国保の大幅値上げや公立保育園の民営化の問題が始まります。福祉の視点から自分たちで問題を考えるために、現状を学びます。

- ・日時 5月29日(日) 13:30-16:30
- ・会場 くにたち公民館 集会室
- ・講師 山家悠紀夫さん(暮らしと経済研究室・市内在住)
- ・主催 くにたちの町の問題を考える会
- ・連絡先 tel:090-1814-8371 上村

3月議会の市提出議案から

3月議会は市提出の47議案すべてが可決なしし同意されました。が、議員提出3議案はすべて否決。3つの陳情はすべて不採択でした。特記すべき議案について私の賛否を報告します。

※○賛成、■反対

■国立市第5期基本構想案について→反対(2面参照)

○国立市行政不服審査法施行条例案→賛成

新しく作られたことになつた行政不服審査会について、市が創設するオングズマンの権限の違いについて質問。市民の選択肢が増え、オングズマンは行

政不服審査の結果に納得できな場合でも受け取るといつて答弁を得ました。

○谷保の原風景保全基金条例案→賛成

ほとまつた農地を残すための基金条例で、生産緑地の買取申請が出たら市は買い取つていぐ。今後は農地については、南部地域整備計画とは別立てにして、農業特区への参入を都には弁。じつに健全化の目標を置くか不明。

■国立市健全な財政運営に関する条例案→反対

条例の中に数値目標がなく規則で定めるとあるが、規則にも入っていないので質問。「27年度決算を見て入れる」との答弁。じつに健全化の目標を置くか不明。

○国立市これからの公共施設のあり方審議会条例案→反対

16年度中に委員会を立ち上げ、数値目標、実行計画を17年度につくることと、委員の力を借りて、じょうがいしゃがあたりまえに生きられるようになってきた。じょうがいしゃ権利条約も日本でも遅れながらも批准された。差別解消法も施行され、一見じょうがいしゃの権利は満たされたようになつていいけれども、しかし、きちんと見れば制限だらけのものになつていて。

■国立市まちづくり条例案→賛成

条例案は紛争予防を重視し、早い段階での説明、周知徹底を盛り込んでいくこと、開発指導要綱を条例化したことなどを評

選定について質問。市の基本方針は間違つてあり、その中での選定は方針を固めていくための審議会になつたのです。

●「国民健康保険税の値上げ見直しを求める陳情」→賛成
●職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案→反対(1面参照)

●「国民健康保険税の値上げ見直しを求める陳情」→賛成
●市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例→反対(1面参照)

●「国民健康保険税の値上げ見直しを求める陳情」→賛成
●職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案→賛成
●市長等の給与及び旅費に関する条例の一一部を改正する条例→反対(1面参照)

価しました。／景観形成条例の批准の中で、高さの問題については考へてこゝといつて答弁がありました。

●予算討論では、私は次の通りました。

「あべての施策の根底に人権の視点」との市長の姿勢を高く評価します。じつに①平和の創設、②オングズマン制度の制定、③男女共同参画推進条例の制定、などの施策には賛成です。

ただし、予算案には、市長の基本姿勢が貫かれていました。とくに、①国保料の大幅値上げ、②公立保育園の民営化、③旧国立駅舎の復元などには賛成できません。

あたうあべに暮らすまちにするための『じょうがいしゃがあたりまえに暮らすまち』の条例がある。これいじ当事者参画によつて生まれたものだ。この条例にそつてきちんと当事者参画して討議していくべきだ。

が生きられるものになつてしまい。国立市は当事者参画を重視したが沢山あり、じょうがいしゃの意見を取り入れた政策が国立の行政でありますように往来してくる。どんな場所にもじょうがいしゃがいる國立にしたい。

なつた。そして八代英太氏一人のために国会の議場にエレベーターがついた。その時代に合理的配慮といふ意識はなく、ただ一人のじょうがいしゃが市には「国立市誰もが

は政治判断で避けるべきと考へます。

……

例案→反対

人事院勧告を受けての職員の賃上げには賛成しましたが、政治判断により議員は自分たちの歳費を上げるのを否決しました。いま市長等の給与等アップ

は政治判断で避けるべきと考へます。

…………

賛成

当事者参画をし始めている。委員会などの場で私達じょうがいしゃを見たいことがない学者や、出会いのない人達に生の姿、生の声を聞かせて実際に話しあい、

は政治判断で避けるべきと考へます。

…………

賛成

当事者参画して討議していく

は政治判断で避けるべきと考へます。

…………

賛成

これがいじ当事者参画によつて生まれたものだ。この条例にそつてき

は政治判断で避けるべきと考へます。

…………

賛成

を見たいことがない学者や、出会いのない人達に生の姿、生の声を聞かせて実際に話しあい、

は政治判断で避けるべきと考へます。

…………

賛成

当事者参画が物を語り

「ワイスステップかたつむり」

三井絹子

は政治判断で避けるべきと考へます。

…………

賛成

当事者参画が物を語り

同じ生活がしたい…と思って40数年国立市行政とやつあつてきた。当時の国立は、私のような重度しゆつがいしゃには生きる保障は、衣食住の保障はなんにもなかつた。役所に日々参じ、行政の意識を変え、みんなの

同じ生活がしたい…と思つて40数年国立市行政とやつあつてきた。当時の国立は、私のような重度しゆつがいしゃには生きる保障は、衣食住の保障はなんにもなかつた。役所に日々参じ、行政の意識を変え、みんなの



国立駅ホームから大学通りを写す(2016.4.1)

2016年大学通りの桜…

でも旧駅舎を駅前に復元すると もう見られない！

3月議会で提案された国立市第5期基本構想案に私は反対しました。旧国立駅舎の再築がまちのビジョンとして重要な役割を担うとあったからです。私は駅ホームから「大学通りと広い空」が見える状態を残すのが、構想が謳う「広い空」にふさわしいと述べましたが、受け入れられませんでした。この景観こそ、未来に残すべき財産です。

3月議会予算委員会で、公立保育園民営化の具体的なスケジュール等を質問。永見副市長から「矢川保育園が入っている団地の建て替え工事が終わる時点を民営化の一つの指標とした」との答弁がありました。仮園者に移るときに、保護者会から今まで戻ることを求める陳情が出され、採択されました。国立市は保護者会と建て替えについての協議の場を持つてきており、保護者会は直

講演会「婚外子差別を考える

—国連女性差別撤廃委員会勧告から—(仮)

昨年、国立市議会議長が婚外子への露骨な差別発言を行い、強い抗議により辞任する事件がありました。婚外子差別の問題を国際的基準から考えます。

- ・6月25日(土) 13:30-16:30
- ・会場 くにたち公民館(予定)
- ・講師 角田由紀子さん(弁護士)
- ・報告 田中須美子さん(なくそ戸籍と婚外子差別・交流会)
- ・主催 実行委員会 tel:090-1814-8371 (上村)

保育園の民営化は矢川から? あと2年で運営形態を決定か

當で戻れる
と信じてあ
られると思
います。

保育園の工事は18年度から始まり、20年度から新園舎での保育になります。工事開始までのあと2年間で運営形態が決定されるわけで、このままでは矢川保育園から民営化が始められてしまつ恐れが出てきました。

女性の貧困への 取り組みを求める

貧困の問題は女性、特に高齢女性において深刻化しています。女性単身世帯や女性のひとり親世帯の貧困も深刻になっています。背景には男女による債

金格差に加え、DVなど深刻な問題の改善が進まない社会状況があり、市としての取り組みが必要です。

私は市の女性施策の充実を求めてきましたが、今年度予算で、休日・夜間対応の24時間女性相談体制が民間との連携により設けられることになりました。

女性や子どもへの暴力や貧困の問題が、社会問題であることはほぼ常識になりました。しかし現実は変わらず、かしこの状況をいくら確認しても、現実は変わらず、結局は当事者の自己責任に帰しているのが実態です。

01年にDV防止法ができて、派手な夫婦喧嘩くらいにしか思われなかつたDVは、ようやく「犯罪」になりました。しかしそれは決して理解も周知もされていません。女性がその過酷な状況から脱出し、自立へ向けて立ち上がるうとする時の困難は、並大抵ではありません。DV被害や貧困に喘ぐ女性たちは助けてほしいのです。とにかく生きていきたいのです。しかしそのための施策は薄

女性への暴力と貧困をなくすために 行政も市民も取り組もう

—地域でできることが沢山あります

のを活かして、できることをサポート。ボランティアせずにやりたいものです。(遠藤良子・女性相談員)

また国立で女性の人権問題に取り組む人びとが一緒になつて、2月に市と共催のシンポジウムも開きました。困難を抱える女性が力を蓄える居場所「くにたち夢ファーム」の遠藤さんに女性の困難な状況と地域の力について書いていただきました。

6月議会に向けて **上村和子 市政を語る会**

日時：6月4日（土）午後1時半～4時
会場：くにたち福祉会館3階講座室
6日から議会が始まります。お声をぜひお寄せください。

上村和子活動日誌 (2016.1～4月)

※★は市議会関係事項

- 1月9日 女性の居場所 jikka の餅つき(企画協力)

10日 公民館をまもる会(参加)

12日 横浜の自立生活アシスタント事業視察勉強会(参加)

20日 朝鮮学校を支える町田市民の会(参加)

26日 生活保護をめぐるしようがいしや団体と厚労省との話し合い(参加)

27～28日 議会レポート発送作業

2月7日 加害者としての戦争を語る会・定例会(報告)

7日 山本太郎さん in 国立 国政報告会(主催)

13日 「女性が困難から立ち上がるとき地域でできること」シンポジウム(3頁参照・参加)

21日 3月議会に向けて意見を聞く会(開催)

23日 もと八路軍に参加していた山辺悠喜子さんの話を聞く会(主催:近代思想研究会・参加)

25日 ★3月議会始まる

27日 ★土曜議会

28日 公民館職員人事についての学習会(主催:公民館をまもる会・参加)

29日～3月3日 ★一般質問

4日 ★全員協議会

5日 くじら雲・夢コンサート(参加)

7～10日 ★予算委員会

10日 公民館主催「近現代史講座」(参加)

13日 自己尊重ワークショップの労働講座(参加)

14日 ★総務文教委員会

15日 ★建設環境委員会

15日 公民館「社会教育講座」(参加)

16日 ★福祉保険委員会

21日 慰安婦問題が主題の劇「ひとみ」上演会(主催)

23、24日 ★最終本会議

28日 L G B Tについての職員研修会(参加)

4月3-5日 自治体議員立憲ネットワーク研修 in 沖縄2016
(右上記事参照・参加)



辺野古ゲート前で文子おばあと握手！

ない、勝つまで諂ひがない、相手が諂ひをめぐるまで戦い続ける。不屈の精神が過酷な歴史から生まれてきたことを今回も痛感しまし
た。

負けることなく、本土の中にじゅしたことが題
帰つてから、「加害器として、沖縄の報告をさせ
ていただきました。(時事・下)



卷之三

4月3～5日、「自治体議員立憲ネットワーク研修 in 沖縄「2016」に参加し、沖縄で翁長知事はじめ多くの方にお会いして、お話を聞きました。

運動センター議長の山城博治さん、機動隊に突き飛ばされて氣を失つたことのある沖縄戦の悲惨を体験した86歳の島袋文子さん…。沖縄の民主主義は柔じやん

たときのことがよみがえりました。尊厳を戦争によつて踏みにじられ、その中で生きる権利を主張して闘つている人たちは本当に強くて優しい。

沖縄に行つてきました
本土の中で灯をともしたい

昨年来リ
ンパ癌で闘
病されてい
る沖縄平和

撮つても「うつたとき、満面の笑顔と「頑張るよ」の掛け声と温かな手、その瞬間ナ num の家イ・ヨンスクハルモ」と握手し

LGBT研修受講者
バッジができました



学習会「市民が望む公民館職員人事」

公民館はなぜ独自の人事のあり方が必要なのか。社会教育の特性を学び市民の立場からあるべき姿を考えます。

- ・5月21日(土)朝10時~12時
 - ・会場 くにたち公民館 講座室
 - ・講師 長澤成次さん(千葉大学・社会教育)
 - ・主催 くにたち公民館をまもる会
 - ・連絡先 杉原(577)0124

上村和子活動レポート「こぶしの木」No.66 2016年5月10日発行
発行者：上村和子
〒186-0003 国立市富士見台3-32-4 日商岩井マンション1110
tel:090-1814-8371 E-mail:kobusinoki.uemura@nifty.com
ホームページ：http://homepage2.nifty.com/uemura_kazuko/